

「戦争反対」「9条守れ」安倍暴走政権への国民的 反撃を！だいこん行進に300人

終結集会で各団体がたたかう決意

6月19日、練馬だいこん行進が行われました。中新井公園を出発したデモ隊は、荒馬座の笛太鼓・東京土建練馬支部作成の「憲法ポップ」を先頭に約300人が千川通りで街頭に訴えました。



憲法ポップを先頭に行進

終結集会では「安倍政権の『戦争する国』などへの暴走と国民的的反撃」と題し、弁護士の金井克仁さんから講演がありました。

金井氏は2013年の参議院選で自民勝利し「ねじれ解消」後、自民党の「日本国憲法改定草案」を掲げ改憲につきすすみ、日米同盟を強化し「戦争をする国づくり」を推進。また新自由主義的政策で労働者・国民生活よりも大企業を有利にする悪政をすすめている。これに対して、海外からや保守層からも批判が起こっている。「集団的自衛権行使」反対、改憲反対の世論が伸びていることから国民との矛盾も広がっていることから「TPP、反原発、などの個々の一点共闘運動を安倍政権打倒の運動に結び付ける。個々の政策の問題点が憲法問題に結び付く。そのうえで大飯原発差し止め判決は画期的だ」とたたかひの展望を示しました」講演後、各団体から報告と決意表明が行われました。

東京土建の鎌田さんは「公契約条例の制定で働くルール作りで若者に魅力ある建設現場を。アスベスト裁判ではこれからの正念場。今年練馬支部は55周年迎える7000人支部めざす」と決意。

練馬区職労の楠井さんは「前川新区長のもとで出張所の統廃合が進んでいる。区民サービスが危ない」との報告。

練馬社保協の斎藤さんは「医療介護の改悪法案で介護外し、医療を受けられない難民が生まれる。国の社会保障責任を放棄するものだ」と訴えました。

都教組練馬支部の吉川さんは「教育委員会の制度改悪は、はだしのゲンの自由閲覧を守った私たちの運動と教育委員会の民主的機能をなくそうとしている。教科書改訂の年でもあり運動が大事だ」と決意。

集団的自衛権を考える練馬の会の坂本さんは「この間7000筆の署名が集まった。自衛隊員にも広がっている。TBSも取材にくる。など運動は広がっている」との報告がされました。

集会は練馬労連・金田議長の団結ガンバロウで閉会しました。



団結ガンバロウ

戦争する国づくりを許さない！国民的反撃を！ 国会・区内で行動続く

いま、教育があぶない！教育を守る労働者・区民の共同を！

教育委員会法が強行成立、自衛隊への職場体験、「愛国心」教育など

6月13日、教育への政治介入に道を拓く教育委員会改悪法案が、参議院本会議で採決され、与党などの賛成で可決・成立しました。この法律は、首長が教育政策の方針「大綱」を策定することや、首長が直接任命する教育長を教育委員会のトップにする内容です。安倍内閣の「教育再生」の柱をなすもので、改悪教育基本法を具体化し、ゆがんだ愛国心や道徳教育の押し付け、競争教育の強化を推進するためのものです。集団的自衛権の行使に向けた解釈改憲の策動や、憲法改悪に向けた国民投票法、大学改革法、秘密会設置法など、「戦争ができる国づくり」と一体となるものです。

私たちは、満身の怒りを込めて、安倍政権、自民・公明はじめこの法案に賛成した勢力に抗議するものです。教育は、子どもの成長を促す極めて文化的な営みであり、国家権力や政治勢力が加入してはならず、直接国民のために行われなければならないものです。今回の改悪が日本の教育にとって重大な障壁となることは疑いありません。同時に国会内外のたたかいの中で、政府は法の運用にあたっては、首長による教育内容への政治介入が好ましくないことを認めざるを得ませんでした。わたしたちは、法律の反動的な運用を阻止し、教育委員会が地域住民や学校現場の多様な教育要求を施策に反映させ、教育の自主性を大切にする機関として今後も、機能・活性化するように求めます。



教育を守れと訴える金田議長

すでに、

田無工業高校で実施した自衛隊への高校生の体験入隊、練馬の一部中学校で自衛隊への「職場体験」など、危険な動きが学校現場で起こっています。教科書の改訂により、「日本領土の強調」など愛国心教育もすすめようとしています。こうした「戦争ができる国・国民づくり」の危険な動きに、労働者・父母・区民が連帯して反対し、子どもたちを守る運動を大きく強くしていこうではありませんか。（文責：都教組練馬支部委員長 吉田）

<今後のとりくみ> ぜひ、ご参加ください！

- ① 憲法・教育をまもる各種署名にご協力を。
- ② 練教組主催 「夏の教育研究会」 7月21日（月）中村小 13:30～16:30 父母・区民の参加を。
- ③ 「練馬教育集会」 12月5日（金）18:30～ 「ここねり」大ホール 参加費 500円
（生かそう1947教育基本法練馬連絡会議・練教組共催）
父母・区民、民主団体とともに大きく成功させよう。
講演 「いまほんとうの教育をもとめて」

講師 三上 満氏（元中学教師、元全労連委員長・元都教組委員長・現在教育評論家）
各団体・個人より発言

「悪政の暴走VS国民の反撃」対決がますます激しく

解釈改憲で「戦争する国」にするな！6・17 大集会

日比谷野外音楽堂で6月17日行われた「戦争する国にするな！6・17大集会」に参加しました。

集会では各政党からのあいさつが行われ、共産党の志位氏は「アメリカの戦争のため日本の若者の血を流すのか」と集団的自衛権行使容認の正体を訴えました。また、翻訳家の池田香代子氏は「憲法にのっとったこの国の在り方を変えてしまう。憲法解釈クーデターです」と訴えました。

安倍悪政暴走、閣議決定強行

6月20日に閉会した国会は安倍政権の悪政の暴走対国民の反撃の対決がますます激しくなっていることを示しました。

国会の最終盤「医療・介護総合法案」が強行されました。これにより、「要支援1・2を介護保険から外す」「利用料の2割負担導入」「医療の負担増」など国民の生存権を奪うものです。今後、改悪によって国民生活が脅かされる事態が進行します。同法の廃止を求めるたたかいと合わせて地域での運動がますます重要です。

しかし、政府・与党が「成長戦略」の柱である「労働法制改悪」の突破口としての「労働者派遣法」は



廃案に追い込みました。労働団体の枠組みを超えた反対運動の成果です。

7月1日には自民・公明両党が合意し、「閣議決定で解釈改憲を行い、戦争する国づくり」へ一歩が強行されました。川内原発の再稼働も強行しようとしています。ますます、国民的な運動が重要になっています。

練馬社保協が対区交渉「高すぎる国保料下げて、保険証取り上げ・差し押さえやめて」…「練馬区は住民を見ているのか」



国保問題で対区交渉

練馬社保協は6月24日に練馬区国保年金課と収納課との交渉を行いました。交渉には年金者組合をはじめ20人の方が集まりました。社保協が要求する「国保料の値上げは行わない」。保険証の取り上げについては…滞納者としてしっかり接触をする機会を持つ

など「機械的にやるのではなくてきめ細かくやる」差し押さえについては…「強権的な滞納処分を厳に戒めることを徹底するガイドラインをつくる」などです。

練馬区の担当者からは「国保料は23区で統一している」「子育て世代の引き上げが大きい」「区の窓口には職員おけない」「委託事業者にはルールを徹底」「練馬区は法律どおりやっている」など回答。保険証の取り上げ問題では国会で大臣が「機械的にやるのではなくてきめ細かくやるように」との答弁を示すと収納課長は「なぜ、大臣がそんなことを言うのかわからない」という暴言も出て、参加者からは「区は住民のほうを見ているのか」「憲法を守らないのか」などの憤りも出されました。

要請については後日回答することになりました。

ILO訪問とジュネーブ・パリへの旅に参加して…その2

郵政産業ユニオン練馬支部・練馬労連の常幹の吉澤利夫さんがILOを訪問し、日本の労働実態を訴えてきました。寄稿していただきましたので、連載します。

JAL不当解雇「高裁判決にかかわらず日本政府に再度勧告する」

JALに関しては二日目の5月13日に行われ、JALの原告は次のように報告しました。JAL原告団は、ILOが2回勧告した内容に基づいて会社に対して解雇問題を解決させていくために話し合いの場を

字をあげて述べると目の色を変えて聞いていました。参加した34名のうち女性は客室乗務員、男性はパイロットに見えたのかもしれませんが。

担当官は、身につまされる思いで話を聞いて、ビックリしている。原告団がILOの出した勧告をいかした取組みをしていることに感銘している。今年の6月のILO総会で高裁判決がどのようになろうが、日本政府に再度勧告する。そのためにも引き続き追加の情報を提供してきてほしい。ILOにしても政府に2回も勧告しているにもかかわらず何ら動かない政府の態度に業を煮やしていました。

教職員・長時間過密労働で過労死ライン超えも



もつよう求めているが、拒否し続けている。国会の場でもこの問題で国会議員が4回もとりあげている。客室乗務員の人員不足が業務に影響を与えてきたが、新入社員を採用してきている。パイロットも採用し、訓練も行われてきている。この間取り組んできた個人署名は34万筆、団体署名11355団体、要請行動、不当解雇撤回キャラバン宣伝、裁判所前、国交省前、国会前での座り込み行動は42回になっている等を報告し、引き続きILOの援助を求めた。

担当官はこの間原告団が行動した内容を詳しく数

教職員に関しては次のように発言しました。ILOは職場の安全衛生を促進させるとして187号条約を発令し、日本政府も批准した。これによって国内の様々な職場で前進してきている。しかし、教職員の中には長時間過密労働で過労死ラインを超えたことが行われている。新人の教職員に対して校長のパワハラで学校に出てこれなくなった教職員、首をつって自殺した教職員等いる。教職員への締め付けも強まってきている。こうした過労死、過労自殺、メンタルヘルス疾患が増えている状況を改善していくために今後も187条約を推進していくためにも監視を強めてほしい。

これに対し担当官は、これまでの情報に加えて追加情報として聞いたが、引き続き情報提供をするようにしてほしい、と答えていた。なお、担当官は全教が今年の6月末にILOを訪問して詳しく報告するのを知

っていたこともあって特別のコメントはありませんでした。

《練馬労連・関係の予定》

7月9日(水) 午前7時半～ 練馬光が丘病院宣伝

7月14日(月) 午後6時～ 労働法制改悪反対宣伝 練馬駅

7月16日(水) 10時～なんでも相談会・つつじ公園

7月22日(火) 午後1時10分～第3回 松本・不当解雇撤回裁判 東京地方裁判所 630号法廷

7月22日(火) 午後6時～ 労働法制改悪反対宣伝 石神井公園駅

7月24日(木) 午後6時半～ 石神井庁舎・5階

「残業代ゼロ」「生涯派遣」「正社員ゼロ」「首切り自由」どうなるの？わたしたちの働き方

… 集会・呼びかけ人による学習集会

7月25日(金) 午後6時半～ 平和行進・豊玉公園

<次回常幹等の日程>

練馬労連四役会議 7月14日(月) 19:00～ 第9回常任幹事会 7月31日(木) 18:30～